

報道関係者各位

令和4年4月13日

## 令和4年度 第1回企画絵画展

### 「抑留者が見たシベリア」

令和4年度、初めての企画展「抑留者が見たシベリア」について、展示の詳細が決まりましたのでお知らせいたします。

つらく苦しい抑留生活の中で心を癒した景色などを描いた数少ない回想記録画の展示をおこないます。

#### 1. 展示期間

令和4年4月23日（土）～ 令和4年7月10日（日）

※展示期間中の休館日：5月19日（木）、6月16日（木）

#### 2. 場所

舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室（企画展は無料。別途入館料が必要です）

#### 3. 展示概要

当館が収蔵するシベリア抑留体験者が描いた1300点の回想記録画の中には、つらく苦しい体験の様子だけではなく、シベリアの美しい自然や現地の人々を描いたものもあります。極限の状況の中で心を癒した風景などを描いた回想記録画を通じて、シベリア抑留の多面性について知っていただくきっかけにいただければと企画した展示です。

#### 5. 展示資料

総点数 37点

- ・油彩画 24点
- ・水彩画 12点
- ・抑留中に使用された絵具セット 1点



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）

〒625-0133 舞鶴市字平 1584

TEL: 0773-68-0836、FAX: 0773-68-0370

E-mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp

## 6 主な展示資料



親切なロシアマダム  
羽田 光雄氏 画



ソ連女性はよく働く  
吉田 勇氏 画



日ノ丸をネックチーフにするロシア娘  
佐藤 清氏 画

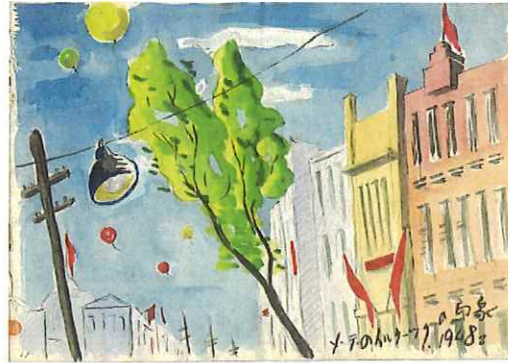


カラングイ鉱山マーシャル  
八巻 行氏 画





## アスケッチブック（ユネスコ世界記憶遺産登録資料）



イルクーツで開催されるメーデーの様子を描くようソ連軍から命令された安田清一氏が、ソ連軍から渡されたスケッチブック 2 冊のうちの一つを絵具とともにもらい受け、抑留中の労働や収容所の様子を描いて奇跡的に日本に持ち帰ったもの。当館収蔵の絵画 1300 点の中で唯一、抑留中に描かれた貴重な資料。

※資料保存の観点からスケッチブックの実物は 4 月 29 日（祝）～5 月 8 日（日）のみ特別展示します。そのほかの期間はレプリカの展示となります。



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）  
〒625-0133 舞鶴市字平 1584  
TEL: 0773-68-0836、FAX: 0773-68-0370  
E-mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp